

平成 28 年度 フォローアップ研修

リカレント教育の一環として、小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム修了生を対象としたフォローアップ研修がスタートし、今年度は、平成 27 年度修了生 5 名を対象に実施しました。

○フォローアップ研修の目的

- ・地元関係機関と協議しながら、小規模病院等で展開する看護学実習を実施できる企画力と調整力を養う。
- ・小規模病院等における看護学生や新人看護師への指導力を培う。
- ・発展的な看護を実践する能力の向上を図る。

○研修内容と概要

『指導力スキルアップ研修』

学部学生の講義や演習に参加し、教員のシャドーイングや授業の準備、学生への指導を通して、基礎看護技術（感染予防・体位変換等）、看護過程の展開等の教育方法について学習した。



『看護研究ステップアップ研修』

昨年度の小規模病院等看護ブラッシュアッププログラム「看護研究の基礎」で作成した研究計画書あるいは新たな研究計画書を基に、研究を実践して発表することを目標に研修を進めた。



『地元医療連携ブラッシュアップ研修』

連携を進める上で必要なスキル（ファシリテーション・コーチング等）について、学部学生とともに講義や演習に参加し学習した。



研修生の意見・感想

- ・シャドウイングをすることで、実際の先生の動きを知ることができ、学生の指導の方法を学ぶことができた。
- ・演習に参加し指導するためには、指導者がその行為の目的・意義・根拠を理解していなければ、相手が納得する自信を持った指導は行えないと思った。
- ・演習前後を通し体験することで、演習目的等が理解でき、今後の指導に活かす事ができる。
- ・学生と直接触れ合いながら学習することで、今行われている教育を知ることができた。
- ・研究のまとめ方や集計方法の講義を受け、皆で考察することで身近に感じられるようになった。
- ・看護過程の展開では、日頃の自分の看護の視点をフィードバックする機会になった。マニュアルや慣れにとらわれず、個別性の大切さを再認識することができた。
- ・小規模病院の役割と看護について、仲間と学びあうことができてよかった。
- ・指導者の教育の充実も必要と感じ、新人教育を行う上でも役立つ内容であった。